

●建築物省エネ法(仕様基準により確認申請内で審査するもの)の確認申請手数料一覧 令和8年4月1日 施行

申請の区分		評価方法	手数料の額(単位:円)		申請単位	
			確認申請	計画変更		
一戸建ての住宅 (人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないもの)		仕様基準	14,000	7,000	戸	
一戸建ての住宅以外の住宅	住戸の部分の申請に係る戸数 (区分単位:戸)		1	14,000	7,000	件
			2以上 ~ 5以下	25,500	12,700	
			6以上 ~ 10以下	35,400	17,700	
			11以上 ~ 25以下	48,000	24,000	
			26以上 ~ 50以下	64,700	32,300	
			51以上 ~ 100以下	85,400	42,700	
			101以上 ~ 200以下	107,500	53,800	
			201以上 ~ 300以下	143,800	71,900	
			301以上 ~	176,000	88,000	

※ 省エネ仕様基準に適合させることにより省エネ適判を要しない建築物1棟ごとに、建築基準法の確認申請手数料(又は計画変更手数料)に上乗せして申請してください。

※ 複数建築物の性能向上計画認定を受けた「他の建築物」の場合は、当該区分の額を加算する必要はありません。

●建築物省エネ法の完了検査手数料一覧 令和8年4月1日 施行

申請の区分		手数料の額(単位:円)	申請単位
一戸建ての住宅(人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないもの)		4,000	戸※1
一戸建ての住宅以外の住宅 (右欄の額を合算 ※2)	住戸部分の申請に係る戸数 (区分単位:戸)	1	4,000
		2以上 ~ 5以下	4,800
		6以上 ~ 10以下	11,000
		11以上 ~ 25以下	15,600
		26以上 ~ 50以下	23,800
		51以上 ~ 100以下	37,400
		101以上 ~ 200以下	40,400
		201以上 ~ 300以下	43,400
		301以上 ~	79,700
	共用部分の床面積の合計 ※3 (区分単位:m ²)	~ 30以内	2,100
		30超 ~ 100以内	2,800
		100超 ~ 200以内	4,000
		200超 ~ 500以内	6,000
		500超 ~ 1,000以内	11,000
		1,000超 ~ 2,000以内	16,100
		2,000超 ~ 10,000以内	37,400
		10,000超 ~ 50,000以内	50,100
		50,000超 ~	91,100
	非住宅部分であって、工場等の用途に供する部分を除いた部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)	~ 30以内	2,100
		30超 ~ 100以内	2,800
		100超 ~ 200以内	4,000
		200超 ~ 500以内	6,000
		500超 ~ 1,000以内	11,000
		1,000超 ~ 2,000以内	16,100
		2,000超 ~ 10,000以内	37,400
		10,000超 ~ 50,000以内	50,100
		50,000超 ~	91,100
	工場等の用途に供する部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)	~ 30以内	360
		30超 ~ 100以内	510
		100超 ~ 200以内	1,100
200超 ~ 500以内		1,400	
500超 ~ 1,000以内		2,200	
1,000超 ~ 2,000以内		3,900	
2,000超 ~ 10,000以内		4,800	
10,000超 ~ 50,000以内		6,500	
50,000超 ~		6,800	
住宅以外の建築物 ※2	非住宅部分であって、工場等の用途に供する部分を除いた部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)	~ 30以内	2,100
		30超 ~ 100以内	2,800
		100超 ~ 200以内	4,000
		200超 ~ 500以内	6,000
		500超 ~ 1,000以内	11,000
		1,000超 ~ 2,000以内	16,100
		2,000超 ~ 10,000以内	37,400
		10,000超 ~ 50,000以内	50,100
		50,000超 ~	91,100
	工場等の用途に供する部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)	~ 30以内	360
		30超 ~ 100以内	510
		100超 ~ 200以内	1,100
		200超 ~ 500以内	1,400
		500超 ~ 1,000以内	2,200
		1,000超 ~ 2,000以内	3,900
		2,000超 ~ 10,000以内	4,800
		10,000超 ~ 50,000以内	6,500
		50,000超 ~	6,800

※1 建築物省エネ法の適合義務の対象となる建築物1戸・棟ごとに、建築基準法の完了検査手数料に上乗せして申請してください。(新3号特例の対象となる建築物又は建設住宅性能評価の検査報告書を提出する場合を除く。)

※2 各区分のうち該当部分がない場合(0m²)は、当該区分の額を加算する必要はありません。

※3 共同住宅の共用部分を評価しない場合は、当該区分の額を加算する必要はありません。

●建築物省エネ法(仕様基準により確認申請内で審査するもの)の確認申請手数料一覧 令和7年4月1日 施行

申請の区分		評価方法	手数料の額(単位:円)		申請単位	
			確認申請	計画変更		
一戸建ての住宅 (人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないもの)		仕様基準	13,000	6,000	戸	
一戸建ての住宅以外の住宅	住戸の部分の申請に係る戸数 (区分単位:戸)		1	13,000	6,000	件
			2以上～5以下	24,000	12,000	
			6以上～10以下	34,000	17,000	
			11以上～25以下	46,000	23,000	
			26以上～50以下	62,000	31,000	
			51以上～100以下	82,000	41,000	
			101以上～200以下	104,000	52,000	
			201以上～300以下	139,000	69,000	
			301以上～301以下	170,000	85,000	

※ 省エネ仕様基準に適合させることにより省エネ適判を要しない建築物1棟ごとに、建築基準法の確認申請手数料(又は計画変更手数料)に上乗せして申請してください。

※ 複数建築物の性能向上計画認定を受けた「他の建築物」の場合は、当該区分の額を加算する必要はありません。

●建築物省エネ法の完了検査手数料一覧

令和7年4月1日 施行

申請の区分		手数料の額(単位:円)	申請単位
一戸建ての住宅(人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないもの)		3,000	戸※1
一戸建ての住宅以外の住宅 (右欄の額を合算 ※2)	住戸部分の申請に係る戸数 (区分単位:戸)	1	3,000
		2以上～5以下	4,000
		6以上～10以下	10,000
		11以上～25以下	15,000
		26以上～50以下	23,000
		51以上～100以下	36,000
		101以上～200以下	39,000
		201以上～300以下	42,000
		301以上～	77,000
		共用部分の床面積の合計 ※3 (区分単位:m ²)	～30以内
	30超～100以内		2,000
	100超～200以内		3,000
	200超～500以内		5,000
	500超～1,000以内		10,000
	1,000超～2,000以内		15,000
	2,000超～10,000以内		36,000
	10,000超～50,000以内		48,000
	50,000超～		88,000
	非住宅部分であって、工場等の用途に供する部分を除いた部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)		～30以内
		30超～100以内	2,000
		100超～200以内	3,000
		200超～500以内	5,000
		500超～1,000以内	10,000
		1,000超～2,000以内	15,000
		2,000超～10,000以内	36,000
		10,000超～50,000以内	48,000
		50,000超～	88,000
		工場等の用途に供する部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)	～30以内
	30超～100以内		1,000
	100超～200以内		1,000
200超～500以内	1,000		
500超～1,000以内	2,000		
1,000超～2,000以内	3,000		
2,000超～10,000以内	4,000		
10,000超～50,000以内	6,000		
50,000超～	6,000		
住宅以外の建築物 ※2	非住宅部分であって、工場等の用途に供する部分を除いた部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)		～30以内
		30超～100以内	2,000
		100超～200以内	3,000
		200超～500以内	5,000
		500超～1,000以内	10,000
		1,000超～2,000以内	15,000
		2,000超～10,000以内	36,000
		10,000超～50,000以内	48,000
		50,000超～	88,000
		工場等の用途に供する部分の床面積の合計 (区分単位:m ²)	～30以内
30超～100以内	1,000		
100超～200以内	1,000		
200超～500以内	1,000		
500超～1,000以内	2,000		
1,000超～2,000以内	3,000		
2,000超～10,000以内	4,000		
10,000超～50,000以内	6,000		
50,000超～	6,000		

※1 建築物省エネ法の適合義務の対象となる建築物1戸・棟ごとに、建築基準法の完了検査手数料に上乗せして申請してください。(新3号特例の対象となる建築物又は建設住宅性能評価の検査報告書を提出する場合を除く。)

※2 各区分のうち該当部分がない場合(0m²)は、当該区分の額を加算する必要はありません。

※3 共同住宅の共用部分を評価しない場合は、当該区分の額を加算する必要はありません。